

2024年1月25日
株式会社ビデオリサーチ

**【2023年版】子どもたちの人気キャラクターランキング、
子ども総合で「ドラえもん」が1位、おんなの子は「すみっコぐらし」が3連覇**
～人気ランキング上位10キャラクターをご紹介～

株式会社ビデオリサーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長執行役員:望月 渡)は、3～12歳の子どもの生活行動やキャラクター人気をまとめた、子どもターゲットのマーケティングデータ「Kids/ex」[※]を提供しています。今回は、最新の調査(2023年10月度 東京50km圏)より、子どもたちに人気なキャラクターランキングをお知らせいたします。

2023年10月度調査 子どもが選ぶ！好きなキャラクターランキングTOP10 (東京50km圏)											
子ども総合 ※3～12歳男女			前回 順位	おとこの子 ※3～12歳男子			前回 順位	おんなの子 ※3～12歳女子			前回 順位
1位	ドラえもん	62.9%	1位	1位	ドラえもん	70.3%	3位	1位	すみっコぐらし	76.4%	1位
2位	キャプテンピカチュウ	58.1%	1位	2位	スーパーマリオ	69.6%	1位	2位	アナと雪の女王	65.1%	5位
3位	星のカービィ	57.1%	8位	3位	MINECRAFT (マイクラフト)	67.0%	5位	3位	ラプンツェル	60.8%	7位
4位	スーパーマリオ	56.5%	5位	4位	キャプテンピカチュウ	64.0%	2位	4位	ミッキーマウス	58.5%	17位
5位	ミニオンズ	53.3%	4位	5位	星のカービィ	61.4%	7位	5位	ミニーマウス	57.5%	16位
6位	MINECRAFT (マイクラフト)	52.8%	10位	6位	ミニオンズ	56.1%	4位	6位	SPY×FAMILY	56.8%	11位
7位	となりのトトロ	51.3%	3位	7位	Splatoon (スプラトゥーン)	53.1%	6位	7位	となりのトトロ	55.8%	2位
8位	すみっコぐらし	50.3%	5位	8位	テレビアニメ ポケットモンスター	52.5%	8位	7位	リトル・マーメイド	55.8%	15位
9位	クレヨンしんちゃん	50.2%	17位	8位	おさるのジョージ	52.5%	11位	9位	ドラえもん	55.5%	3位
10位	テレビアニメ ポケットモンスター	50.0%	12位	10位	クレヨンしんちゃん	52.1%	12位	9位	チップ&デール	55.5%	12位

(ビデオリサーチ調べ)



■【子ども総合】ドラえもんが連覇達成、クレヨンしんちゃんが大幅ランクアップ

3～12歳男女の人気ランキング1位は昨年度から引き続き「ドラえもん」。2023年には、3年ぶりとなる完全新作映画が公開され、人気に拍車がかかったようです。3位の「星のカービィ」は昨年度の8位からランクアップする結果になりました。今回9位の「クレヨンしんちゃん」は、昨年度の17位から大幅にランクアップしており、TOP10入りしたキャラクターの中で最も人気度が上昇しています。人気度上昇においては、特におんなの子のスコアが昨年から10.9ptの大幅アップとなっています。2023年にシリーズ初の3DCG映画を公開し、劇場版シリーズでNo.1となる興行収入を記録するなど、人気の高さがうかがえます。

■【おとこの子】ドラえもんが昨年3位から1位、ゲームキャラクターも多数ランクイン

性別ごとに見ると、おとこの子1位は「ドラえもん」。2位の「スーパーマリオ」を僅差でかわしました。3位以降は「MINECRAFT(マイクラフト)」、5位「星のカービィ」、7位「Splatoon(スプラトゥーン)」など、多くのゲームコンテンツ由来のキャラクターがランクインしています。それぞれ新作ゲームが発売されており、またイベントやさまざまなコラボ商品の展開も、おとこの子からの人気獲得に影響しているようです。

■【おんなの子】映画公開のすみっこぐらしが3連覇、Disney キャラクターに人気集まる

おんなの子 1位は「すみっこぐらし」、人気キャラクターランキング3連覇を果たしました。2位以降は、2位「アナと雪の女王」、3位「ラプンツェル」、4位「ミッキーマウス」、5位「ミニーマウス」と Disney キャラクターが昨年度に続き上位に複数ランクインしていることから、Disney キャラクターがおんなの子の間で根強い人気を誇っていることが伺えます。1位の「すみっこぐらし」と6位の「SPY×FAMILY」は、共に映画公開やテレビアニメ放送で注目を集めました。

※「Kids/ex」とは

3～12歳の子どもの生活行動やキャラクター人気をまとめた、子どもターゲットのマーケティングデータです。

3～12歳の子どもの持つ「ACR/ex」の対象者に対して、子どもへのキャラクター浸透状況や、子どものメディア接触状況、生活行動、意識を調査しています。子どものマーケティングはもちろん、子どもを持つ親のマーケティングにも活用できます。

【調査概要】

調査期間:2023年10月6日(金)～10月29日(日)

調査地区:東京 50 km圏

調査対象者:男女 3～12歳^{※1}(中学生は除く)

有効標本数:604 サンプル

調査方法:回答専用タブレットによるインターネット調査

調査リポート方法:子どもを持つ ACR/ex モニターへ調査依頼 (ACR/ex モニターは ARS^{※2}にて抽出)

調査キャラクター数:141 キャラクター

※人気度…そのキャラクターについて「好き」と回答した割合

※1 回答入力には父母または父母代行者

※2 住民基本台帳の統計データを基に、無作為系統抽出法により抽出された調査対象世帯を住宅地図上にプロットし、該当世帯の居住者の中から調査対象者を無作為に抽出する方法。

●株式会社ビデオリサーチ

株式会社ビデオリサーチは、テレビも含めた動画ビジネスを支えるデータ&システム会社です。テレビ視聴率データを提供する調査機関として 1962 年に設立し、以来、日本国内におけるテレビ視聴率調査をはじめとした各種メディアデータやマーケティングデータなど最先端のデータを提供し、企業のマーケティング課題解決のトータルサポートを行っています。